

「生きることを支えあう」自殺対策講演会

7月11日、しんた21で登別市「生きることを支えあう」自殺対策講演会を開催しました。

市民など約40人が参加したこの講演会では、精神保健福祉士の松村拓実さんが『自分自身と大切な人のこのころのためにできること』をテーマに具体的な例などを交えて講演。参加者は、資料にメモを取りながら熱心に聴講しました。

講演後の参加者からは「大変わかりやすかった」「知人の相談に乗るときに参考にしたい」といった感想が多く聞かれました。

7/11



▲4年ぶりの開催に賑わう会場の様子

環境にもお財布にも優しく

7月2日、クリンクルセンターでリサイクルまつり'23イン登別・白老を開催しました。

4年ぶりの開催となったまつりは、クリンクルセンターの敷地内にフリーマーケットやキッチンカー、環境に関するブースなどが軒を連ね、掘り出し物を求める人やクリンクルセンター内を見学する人など大いに賑わいました。

フリーマーケットに訪れた男性は所狭しと並んだ商品をじっくりと品定め。価格交渉をして購入した商品を手に取り、満足そうな表情を浮かべていました。

7/2



▲自殺対策講演会の様子

楽しいイベントで夏の幕開け

7月15日・16日の2日間、登別マリナパークの前身「登別ビーチパーク」で『わくわく広場のぼりべつ2023』（同実行委員会主催）が開催され、多くの人々が登別の夏を味わいました。

開催初日はあいにくの大雨に見舞われたものの、2日目には雨が上がり、親子連れや観光客の姿も見られ盛況に。

同イベントでは登別中学校吹奏楽部による演奏や、フラダンス・バトントワリングなどの演舞が披露され、来場した多くの市民や観光客を魅了しました。

7/15-16



▲遊び方を教えてもらいながら『あやとり』をする子どもたち

昔の遊びを体験してみよう

7月14日、富岸小学校で『世代間交流事業』（登別市地域学校協働本部実行委員会主催）が行われました。

本事業は、昔の遊び体験を通じて、児童と地域の方の交流を深めることを目的に、市内の各小学校で実施されています。この日は、富岸小学校の生徒63人と地域に住む方21人が参加。福笑いや竹とんぼ、おはじき、竹馬など、昔ならではの遊びをそれぞれグループに分かれて教わりました。

初めは慣れない昔の遊びに戸惑っていた子どもたちも、遊び方を覚えると夢中で楽しんでいました。

7/14



▲『わくわく広場のぼりべつ』で思い思いの夏を楽しむ参加者たち